

## 「国連持続可能な開発のための教育の10年」推進に向けた要望書

NPO 法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議  
代表理事 阿部 治

「国連持続可能な開発のための教育の10年（ESDの10年）」がスタートして4年目となる今年1月、関係省庁連絡会議のもと、ようやく円卓会議が設置・開催されました。このことをかねてより求めてきた当会といたしましては、円卓会議の設置を大いに歓迎し、今後の活性化とESD推進への貢献に期待をしているところです。

さて当会は、日本が提案したESDを国内外で推進し、国際的なイニシアティブを発揮するためには、この円卓会議の強化を含む、下記の取り組みが早急に必要であると考えます。これらは官民協働で行うことではありますが、とりわけ政府の体制強化・予算化が今の段階では重要と考え、ここに要望書を提出いたします。

### － 記 －

- 1) 日本全体として総合力を発揮するために、関係省庁連絡会議および円卓会議の位置づけを強化すること
  - ・関係省庁連絡会議の事務局として内閣官房に専任の担当者を配置すると共に予算化をはかり、政府全体としての取り組みを積極的に推進できる体制とすること
  - ・円卓会議の位置づけを「意見交換の場」からより踏み込んで、施策の検討・提案と取り組みの評価を担える位置づけにしていくこと
- 2) 中間年（2009年）に向けた評価を行うために、日本としての目標設定や評価指標作り、調査等に取り組む予算を確保すること
- 3) EUおよび国際機関等のESDをめぐる状況を常に把握し、関係者に情報を共有する体制を作ること
- 4) 国内の認知度を高めるとともに国際的な貢献を行うために、最終年（2014）の国際会議開催を日本に誘致すること

以上